

～ガバナーメッセージ

## 「平和な世界を築くために」

国際ロータリー第 2590 地区  
ガバナー 湯川 孝 則



いよいよ本格的な寒さがやって参りました。会長、幹事、会員の皆様にはますますご清祥にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、2月は、平和と紛争予防／紛争解決月間です。これは、ロータリーが定める6つの重点分野の一つであり、人道的奉仕のニーズが最も高い分野と言えます。そこで、平和な世界を築くために、私たちに何ができるかを考えてみたいと思います。

世界各地で紛争の絶えない今日、訓練を受けた平和構築のエキスパートが必要とされています。このためロータリーでは、2002年、ロータリー平和センタープログラムを開始しました。イギリス、アメリカ、日本、オーストラリア、スウェーデン、タイの大学に設置されたロータリー平和センターでは、「平和フェロー」と呼ばれる留学生が平和と紛争解決分野の研究に打ち込み、実地研修を通じて実践的スキルを磨いています。日本では、1953年にわが国最初の4年制教養学部大学として設立された国際基督教大学にロータリー平和センターが設置されました。

平和フェローは卒業後、国際機関、政府、地域団体など、さまざまな組織でリーダーシップを発揮し、奉仕活動や日常生活を通じて、国家間の協力や平和への活動、争いの調停などに貢献しています。

この分野で私たちができる活動としては、具体的にロータリー「平和フェロー」の候補者を探すことや、紛争の要因となる「貧困」や「教育の欠如」などの問題解決に取り組むプロジェクトを計画し、実行することが考えられます。また、海外のロータリークラブと奉仕活動を通じて友好関係を築くことも、こうした活動の一助になるのではないのでしょうか。

この月間を契機として世界平和への理解を深め、世界平和を目指すロータリーの貢献活動を、一層前進させて参りましょう。国際奉仕をする場合は、奉仕先の現地のニーズを十分に把握することや現地の自主自立につながる奉仕をすることが重要になると思います。

また、日頃の生活の中で、多様な価値観を認め合う広い心を養い、日本の文化や伝統を留学生や旅行者に知ってもらう行動をすることも、世界平和への道につながることでしょう。各クラブ、各ロータリアンが、できることから着実に取り組んでいくことが大切であると思います。そして、私たちの子供たちが安心して素晴らしい人生を送れる世界を築き上げようではありませんか。

参考文献 「平和の願いはきっとかなう」

ロータリー平和センター